



2月20日、千葉鉄道学園に入学した四十名の組合員は、動労千葉学園協議会を結成し、反動学園当局による新マル生的攻撃に対し連日闘いを展開している。「学園は、職場と違って勉強にせいしむ所だ」等といったはなち、ワッペン着用すら妨害する反動学園当局に対し、ビラハリ、集団抗議行動をもって、生き生きとして闘っている。この闘いの報告が学園協の仲間から寄せられましたのでここに掲載します。

2月20日、四〇名の仲間が入学、「学園協」を結成！

全組合員の皆さん、今度2月20日に、動力車乗務員本科II・E1・E2分科に、四十名の仲間が入学しました。翌日ただちに集会を行ない、「動労千葉・学園協」を結成しました。ところで、学園当局は、入学以来「名札をつける」「ワッペンをとれ」「組合のポスターは、はるな」等の不当なしめつけを行なっており、学園協結成集会でも、この現状を重視して、全員の怒りをもって、粉碎していかなければならないとの提起がなされ、集会終了後、ただちに、学園長・福山に対して、今後、学園生徒に対する不当なしめつけを行った場合、学園協は糾弾闘争を展開する事を申し入れた。

夜な夜なビラをはがしてまわる 学園長・福山に怒り爆発！

ところが、どうだろう、学園長・福山は、学園協の申し入れにすくみあがったのか、皆の前では公然と「ビラをはがせ」「ワッペンをとれ」などと反動的な事が一切できず、学園生徒が帰った後、夜な夜なコソコソと教室に忍び込んで、『日刊動労千葉』、『学園協ニュース』をはがして回るといふような許せぬ行為をはたらいている。これが、学園長・福山の実体だ。

こうした反動マル生園長・福山による、組合活動への不当な介入に対して、我々学園協は、再度、全体集会を3月1日、二時限終了後に行ない、ただちに、学園長に対する抗議に立ち上がった。

「組合活動は教育の支障：」と居直る反動マル生園長を許さないぞ！

学園協全員で、園長室に押しかけ、「学園協への不当介入はやめろ」という、我々の怒りの抗議に対して、福山は、「ビラをはがしたのは自分だ」「学園は教育機関であり、組合活動は教育に支障をきたす」「局長の指導でやっている」などと、完全に居直って、あれこれと理由をつけていた。しかし、「職場と学園のどこが違うんだ」「ビラをはるとどうして教育に支障をきたすんだ」という、我々のするどい追及に対し、しだいに返答ができなくなり、何を聞いても、テーブルコーダーのように「学園内での組合活動は一切認めない」

と同じ事を言い返すだけで、何も言えなくなった。しかも、福山は、こうした我々の怒りの追及行動の中で、許せぬ事に、「リムパック反対などというのは正当な組合運動とは言えない」などという超反動的な事を言っていたのだ。これは、学園協だけでなく、動労千葉の闘いに対する、不当介入として受けとめなければならない。我々、学園協は、一時間にわたる追及行動を行った後、学園の民主化を勝ち取るため、今後、更に徹底した追及を行うことを始めとした、今後の具体的方針を確認し、この日の闘いを終った。

学園協は、最先頭でガンバルぞ！

我々学園協に結集する仲間は、この間のジェット闘争、動労「本部」革マル分子との熾烈な闘いを通して、労働者とは何か、労働組合とはいかなるものでなければならないのかを身をもって学んできた。

我々は、当局のドレイでもなければ、ロボットでもない。学園協の団結を一層強固にし、反動園長を学園から追放し、学園民主化をかちとるとともに、当面する「35万人体制」大合理化粉碎、動労大改革の先頭にたつべくがんばりたい。

学園協ニュース
NO.2
石井謙次

反動園長・福山を許さない！

学園協は闘うぞ！

このように事が
まかり通ると思うなヨ
学園協は闘うぞ！

日時 3月1日 16時より
場所 未定（予定は後日）
会費 三〇〇〇円
※全組合員を呼び入れて参加して下さい

三里塚会館中央
330
に於
て
行
な
い
ま
す

若き40名の仲間は連日元気に闘っている……。